



## 自殺者防止・減少浸透支援活動

### H30年度の活動報告

#### 目的

### 大切な命を守るためにゲートキーパーが必要です

私たち団体はカウンセリングによる支援の一環として、以前から自殺対策の1つである「ゲートキーパー養成研修」を内閣府が掲げる以前より行ってまいりました。平成28年の自殺対策基本法の一部改訂により、国だけでなく、県や市町も自殺対策行動計画を策定することになりました。沼津市も例外ではありません。一人の専門家より、多くの市民の参加による支援・見守りができる環境を支援するために参加しています。

#### 現状

### 沼津市の自殺者に関する実態

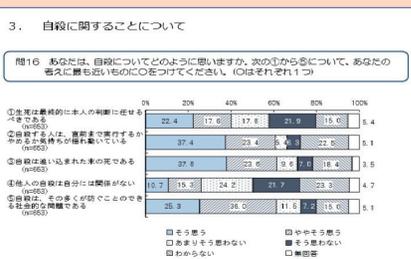
1. 沼津市の自殺の現状
2. 沼津市民の意識調査
3. 自殺対策行動計画の基本理念

毎年全国で  
2万人が  
自殺って！

○ 現状  
平成29年の沼津市の自殺死亡率は、静岡県や全国を上回っています。直近3年間の推移では、静岡県及び全国は減少傾向ですが、沼津市は、自殺者数が減らないため、人口の減と相まって自殺死亡率が上昇しています。統計資料と市民意識調査から、働き盛りの年代や高齢者の自殺が多く、「健康問題」「経済・生活問題」「家庭問題」が自殺やストレスの原因となっていることが分かります。

自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)の現状	沼津市の自殺者数		
	平成27年	平成28年	平成29年
沼津市	19.2	19.4	19.6
静岡県	18.0	17.2	16.9
全国	18.6	16.9	16.5

○ 課題  
悩みを抱えている人に基づき、支援につなげられる人材の育成が必要です。加えて、身近な相談窓口を充実させ、いつでも利用できるよう、周知に努めるとともに、多岐にわたる問題の解決のために、各相談機関等が連携することが求められます。また、「生活困難者」「勤労・経営」「高齢者」の3点は、国の地域自殺対策プロファイルが示す地域特性にも表れており、沼津市の優先的な課題と言えます。



自殺は追い込まれた末の死であり、社会的要因が大きく影響。「生きることの阻害要因」を減らし、「生きることの促進要因」を増やす

#### 活動

### ゲートキーパー養成研修の実施

1. 沼津市の現状把握
2. 沼津市（健康づくり課）とのすり合わせ
3. 沼津市役所管理職対象にゲートキーパー講演
4. 沼津管内の行政（東部総合庁舎職員対象）にゲートキーパー講演
5. 当団体内部研修の強化



講師 理事長 丹澤潔

#### 振り返り課題

- 今年度は、自殺対策（ゲートキーパー）への認知と理解、啓蒙活動
- 担当部署も、計画策定の中忙しい時間を調整しての情報交換ができた（感謝）。
- 自殺が多い働き盛りの中高年男性への取り組みを強化。
- ネガティブ的な捉えられ方とポジティブ対応（隠れたニーズ、表に出にくいニーズ）と掘り起こし。
- 健康経営やメンタルヘルスとの相乗効果を狙う。

